



両手に花の
コスモス街道

(金屋郷ウォークラリー)

こんにちは!
議会です

No.116

はさみ

平成23年11月号

《長崎県波佐見町議会》

9月定例会

- 平成22年度 決算認定 2~3
どう使われた 私たちの税金!!
- 一般質問 7名が政策を問う 7~11
- 私もひとこと 「僕が野球を始めて」 12

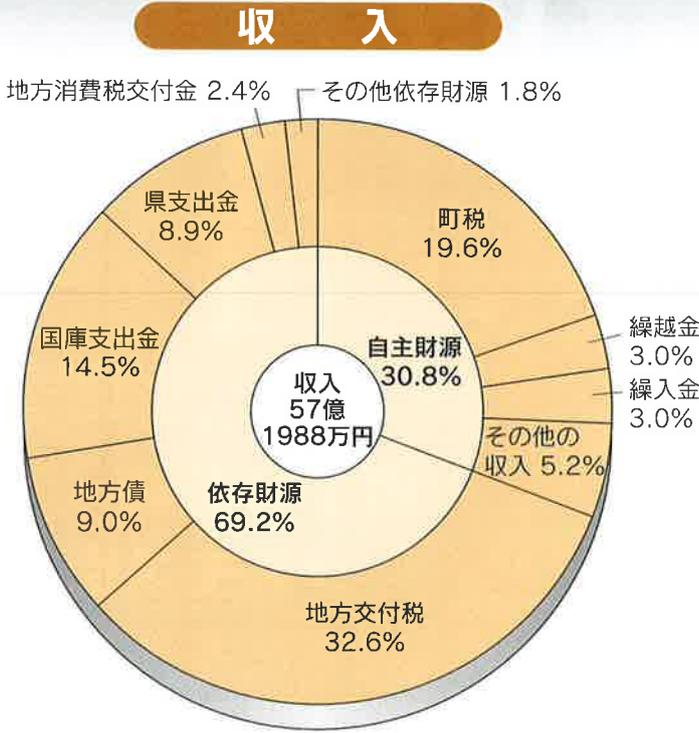
の税金!!

3819万円 決算特別委員会

9月 定例会

9月13日~22日

会計



◇自力で賄えるお金(自主財源)		◇国・県にたよるお金(依存財源)	
町税	11億2215万円	地方交付税	18億6383万円
(内訳)		地方債	5億1410万円
町民税	4億3336万円	国庫支出金	8億3188万円
固定資産税	5億7596万円	県支出金	5億1063万円
軽自動車税	3億924万円	その他の交付金	2億3818万円
町たばこ税	7億172万円		
入湯税	1億87万円		
繰越金	3.0%		
繰入金	3.0%		

入ってきたお金

会計別 収入・支出 決算の状況

会計名	収入	支出	繰越事業費	実質収支額	
一般会計	57億1988万円	55億8937万円	5236万円	7815万円	
特別会計	国民健康保険事業	18億3842万円	17億4674万円	—	9167万円
	老人保健事業	17万円	17万円	—	0円
	後期高齢者医療	1億2171万円	1億2167万円	—	4万円
	介護保険事業	9億2903万円	8億9268万円	—	3636万円
	公共下水道事業	3億9480万円	3億8492万円	851万円	138万円
	町営工業団地整備事業	3418万円	2635万円	439万円	343万円
合計	90億3819万円	87億6190万円	6526万円	2億1103万円	

※1万円以下は四捨五入しております

どう使われた 私たち



22年度

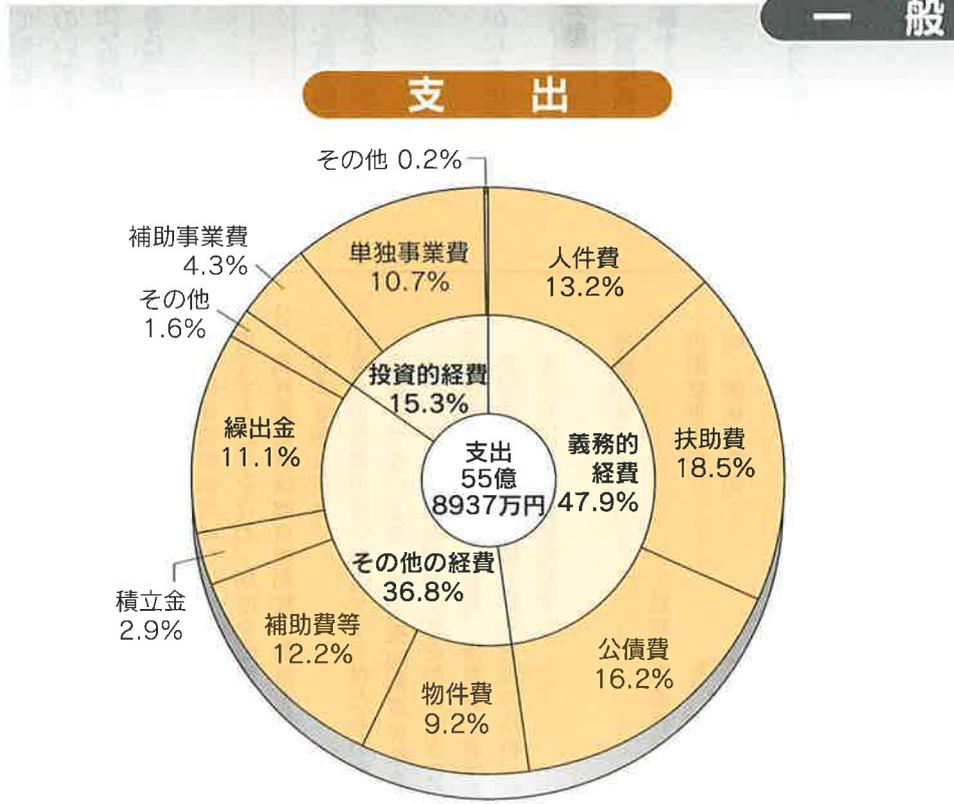
一般会計
特別会計

総額90億

一般

そこが知りたい！ 町の台所事情

◆借入金（借金）	◆基金（貯金）
22年に借りたお金	22年に蓄えたお金
9億476万円	1億6062万円
返したお金	全部で19基金
7億6136万円	24億6539万円
全部で	
64億3306万円	



主に使ったお金

人件費

7億3787万円

町長等特別職給与、一般職員給与、議員報酬、非常勤特別報酬など。

緑出金

6億2058万円

後期高齢者医療などの特別会計事業に緑出。

扶助費

10億3262万円

子ども手当、障害者自立支援事業、民間保育所運営など。

補助事業費

2億3938万円

林道舗装、町道整備、公営住宅建設、合併浄化槽設置、強い農業づくり交付金事業など。

物件費

5億1402万円

緊急雇用作業員、産休や育休職員の代替用臨時職員の賃金、光熱水費、燃料費、地域情報システム設計委託料

単独事業費

5億9815万円

小中学校、勤労福祉会館改修事業、その他、決算の区分上、実質補助事業として道路整備、土地区画整理事業や地域活性化各交付金事業などが含まれる。

補助費

6億7914万円

東彼保険組合負担金、広域消防業務委託、延長保育促進事業、幼稚園就園奨励補助金、中山間地域等交付金など。



条例改正

税条例の一部改正

個人住民税の寄付金控除の下限額を現行5000円から20000円に引き下げる。

NPO法人以外の特定非営利活動法人への寄付金でも、個人住民税の寄付金税額控除の対象とする。

町民税や固定資産などの不申告の過料を3万円から10万円に引き上げる。

災害弔慰金に関する条例の一部改正

災害弔慰金を支給する遺族に対して死亡者に係る配偶者、子、父母、孫または祖父母のいずれもが存しない場合であつても兄弟姉妹（死亡同時に同居、生計を同じくしていた者）がいるときは、災害弔慰金を支給する。

教育委員会委員の任命

松岡憲了氏（金屋郷）を教育委員に任命する人事案に同意しました。

（任期）
平成23年11月から4年間。

法務省人権擁護委員候補者の推薦

橋本弘子氏（金屋郷）を候補者として推薦することに同意しました。

（任期）

平成24年1月から3年間。

発議第3号
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書（抜粋）

1、教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費国庫負担制度について、国庫負担率を2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること。

2、義務教育費国庫負担制度の趣旨を生かした教育予算の充実を図ること。

①家庭の所得の違いによって子供たちの教育や進路に影響がでないよう、就学援助制度を拡充すること。
また、そのための国の予算をおこなうこと。

②学校施設整備費、教材費、図書費、通学路などの安全対策など、教育費予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。

平成23年9月22日

内閣総理大臣
他 関係大臣宛

長崎県東彼杵郡波佐見町議会

採択

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書（要旨）

教育の機会均等、教育の維持、向上を図るため、義務教育費国庫負担率を2分の1に復元することを含め、義務教育費国庫負担制度を堅持し、必要な財源が将来にわたり確実に確保されるよう内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣に対し、意見書を提出されること。

平成23年8月29日提出

請願者 波佐見町長野郷641-3
波佐見町の教育を考える会
会長 谷添岩男

発議第4号
郵政改革法案の早期成立を求める請願書（要旨）

本請願は、平成23年9月議会に提出された。平成19年の郵政民営化法に基づき郵便・貯金・保険の郵政3事業は民営・分社化され郵便外務員に貯金・保険の取り扱いを依頼できない、郵便局への問合せが出来ない、各種手数料が上がるなど、地域住民から不満の声が多く寄せられている。

昨年4月郵政改革法案が閣議決定されたが、いまだ成立に至っていない。

このような背景から、本議会において、慎重に審議した結果、意見書の提出を全員賛成により可決した。

平成23年9月22日

内閣総理大臣
他 関係大臣宛

長崎県東彼杵郡波佐見町議会

採択

郵政改革法案の早期成立を求める請願書（要旨）

国民共有の財産である郵便局ネットワークを維持するため、郵政改革法案の早期成立を求める意見書を、衆参議長および関係大臣に提出していただきますよう要望します。

平成23年9月1日

請願者 波佐見町田ノ頭郷141
安武睦裕

省エネ対策

太陽光パネル 役場庁舎に設置される

一般会計補正予算(2号)

1億3200万円を追加し総額54億3150万円

主な支出

- 保育所緊急事業費 ……………432万円
松葉保育園給食室の改修。
- 放課後児童クラブ送迎支援事業費 ……………220万円
アナンダ幼稚園のETクラブ送迎車の購入。
- 耕作放棄地再生利用対策費 ……………1817万円
川内・村木地区
- 自然災害防止事業費 ……………437万円
井石郷・中の原地区
- 万年橋防火水槽移転工事費 ……………452万円
- 太陽光パネル・LED照明器具取付など ……………1680万円
- 役場庁舎トイレ改修工事費 ……………318万円
洋式トイレ(4か所)などの改修
- 町債繰上償還基金 ……………5300万円

特別会計補正予算(1号)

- 国民健康保険事業……………2969万円を追加し総額18億3759万円
- 介護保険事業……………3719万円を追加し総額9億7676万円
- 公共下水道事業……………7219万円を減額し総額4億2045万円
- 町営工業団地整備事業……………274万円を追加し総額2億6993万円
- 上水道事業会計……………収益的支出を537万円増額し総額2億4806万円
資本的収入を188万円追加し3638万円に、
支出を1500万円増額し総額1億8363万円

主な賛否表

○賛成 ●反対 退席…監査委員のため退席

	議決の結果	議席番号 表決数 賛成:反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
			古川千秋	尾上和孝	藤川法男	松田宇子	川田保則	今井泰照	太田一彦	松尾道代	原昭治	松林一夫	福田洋吉	大久保進	武村龍宏	中村與弘	松尾幸光
平成23年度波佐見町一般会計補正予算(第2号)	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度波佐見町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度波佐見町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	14:1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
波佐見町税条例の一部を改正する条例	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	15:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度波佐見町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○
平成22年度波佐見町国民健康保険事業特別会計歳入歳出認定について	認定	14:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退席	○

行動する委員会

所管事務調査報告

総務文教委員会

◎防災無線について

平成13年度に本町独自の無線LANシステムが整備された。しかし、整備後10年となり、老朽化に伴い通信状態のトラブル発生頻度が増えた。平成16年度からデジタル方式が全国でスタートし、各自自治体ではデジタル化されている。本町もこれに合わせ見直されることになり、7月21日に先進地の平戸市における防災行政無線の整備状況の調査を行った。

今後は、可能な限り早期に事業に着手し、弱者対策や自治会未加入者問題も併せ、何らかの対策を講じる必要がある。等しく情報配信をしていくため、事業計画、事業費なども研究していく。

◎危険箇所調査について

町内で特に危険と思われる8箇所を、教育委員会、総務課、農林課職員を同伴し、今回は児童生徒に対する危険箇所を重点的に調査した。これまでも、繰り返し調査、要望されているが、道路管理者や警察などの対応が遅れている。

今後、多額の費用を要する箇所が少し遅れるのは仕方ないが、少額な箇所は、直ちに改善して頂くよう、再度、関係団体から要望書の提出が必要と考える。本委員会も各方面へ早期に働きかけたい。

(7・8月2回開催)

産業厚生委員会

公共工事の施工に伴う関係者との協議のあり方と、農業関係団体の活動状況および農政課対策について、現地調査と、建設課、農林課から説明を受け、協議を行った。

◎公共工事について

県道1号線村木〜飛瀬区間整備工事、および町営住宅鹿山団地建替工事、西ノ原土地区画整理事業の3件について、地元関係者に対する説明などの対応状況と、今後の工事計画の説明を受け、現地での進捗状況調査を行った。

工事は、今後、関係住民の意見要望などを最大限取り入れ、細心な注意を払いながら施工されるよう要望した。

西ノ原土地区画整理事業については、南 handsおよび下流域の排水対策計画の説明を受けた。

◎農業振興について

農業振興会、農業再生協議会、担い手育成総合支援協議会および農業委員会のそれぞれが、事業分担と活動状況について説明を受けた。また、集落営農法人化の実情と長所・短所、および農業後継者、認定農業者の現状と耕作放棄地対策について、意見交換などを行い、今後の農政推進上の問題点などを確認した。

(7・8月2回開催)

企業誘致対策調査特別委員会

東日本大震災による企業の動向と、経済的にも多難の時、また窯業、農業経営の厳しい中、特に雇用の創出が大事である。企業誘致をいち早く行うため、長崎県産業振興財団理事長を招き調査を行った。

◎大震災および円高などの影響と

企業の動向について

製造メーカーは、発注を分けて危険を分散していたつもりだったが、震災により、特定製造業だけに受注が集中し供給網が寸断された。

その後、拠点分散の必要性が考えられる大企業は137社、中小企業は1,215社があり、近畿、九州への移動が考えられる。

財団の企業誘致活動状況は、訪問企業約1,000社、うち震災企業関連728社。

海外への企業流出の動きは、1位中国約57%、2位インド約11%、3位韓国約8%となっている。

以上のとおりであるが波佐見工業団地への企業誘致については、県の財団が責任を持つておこなうと、強い意気込みを感じた。

(9月1回開催)



武村龍宏議員

●都市計画道路廃止・変更前に地域との協議は ●大日交差点の信号機移設はできるか

質 問 一 般

施策を問う!

問 都市計画道路の廃止・変更を聞いているが、見直しの前に関係する地域と路線ごとに協議が大事だと考えるがどうか。

町長 計画どおりか、変更・廃止かを検討するため、4路線8区間の見直し作業の参考に、町民皆様の意見をいただくことにしている。県は関係する地域との協議内容を、路線によっては集約して意見の公表を計画している。

問 県道波佐見山内線の整備が進められているが、地域の生活道路、通学路として10数年以上にわたり安全な歩道整備が待たれている。熊野神社下から館橋までの整備について関係者との協議はしているのか。

町長 未改良区間は地元からの要望もあり、21年9月、22年4月県へ要望しているが、この区間の改良については回答がない。歩道は狭いが、注意して通行し

てもらいたい。

問 大日交差点信号機移設について、関係機関との協議を行ったのか。

町長 信号機移設については歩道の整備計画に合わせ、改良とともに県へ要望する考えである。

昨年度、東小学校前の歩道は、一部拡幅のための設計がされたが、今回、都市計画道路見直しに含まれる

ことから、協議検討されている。

問 里道を地域の生活道路として利用しているが、町道として整備し、安全な通学路にする考えはないか。

町長 里道の整備についてはこれまで同様、町の道路事業補助金を活用する。町道として整備することは困難と考える。



県道大日交差点 (東小学校入口)

議員活動

- 8月9日 産業厚生常任委員会
- 17日 全員協議会・広報調査特別委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 20日 南地区慰霊祭
- 22日 熊本県嘉島町議会視察来町 (議会広報研修会)
- 23日 議会運営委員会
- 24日 西九州自動車道路建設促進期成会 (長崎市)
- 25日 県町村議会議長会各委員長研修会 (時津町)
- 28日 はさみ夏まつり
- 31日 県後期高齢者医療広域連合会議会定例会
- 9月2日 企業誘致対策調査特別委員会
- 4日 波佐見高校体育大会
- 11日 東彼杵郡体育大会
- 13日 9月議会定例会
- 15日 各常任委員会
- 20日 中学校体育大会
- 21日 交通安全祈願祭・産業厚生常任委員会
- 22日 広報調査特別委員会
- 23日 鬼木棚田まつり
- 29日 県町村議長会広報研修会 (市町村会館)
- 10月2日 東小学校、中央小学校運動会
- 3日 九州新幹線西九州ルート着工総決起集会 (長崎市)
- 6日 議会運営委員会
- 7日 県北広域連携促進会議
- 8日 広報調査特別委員会
- 9日 波佐見町戦没者慰霊祭・挾の里豊稷太鼓まつり
- 9日 健康づくり町民大運動会
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 全員協議会・産業厚生常任委員会
- 16日 広報調査特別委員会
- 18日 東京波佐見郷寄り会総会
- 18日 産業厚生委員会行政調査 (熊本県菊池市)
- 19日 産業厚生委員会行政調査 (熊本県合志市、和水町)
- 20日 長崎県戦没者慰霊祭 (シーハット大村)
- 21日 広報調査特別委員会
- 23日 長崎県子ども芸能大会
- 28日 広報調査特別委員会
- 29日 30日 波佐見町文化祭



松尾幸光議員

●地域新エネルギービジョン策定事業
推進状況はどうか

●国が施行する「六次産業化法」
取り入れる要素は
十分あるが

問 平成19年に「波佐見町地域新エネルギービジョン策定事業」が報告された。短期・中期・長期に分け各プロジェクトのスケジュールを指定されているが、その後の推進状況は。

町長 いずれも多額の費用を要することから、国との連携のもとでなければ実現不可能。幸いにして、平成21年度に国の一〇〇%助成によりハイブリット車を一台購入。今年度は、太陽光発電設備を役場庁舎屋上に設置計画している。

このビジョンは、一〇〇%助成ということで研究をしてきた。策定することだけが目的の感じだったが、今後これが一番力を発揮するときに思う。大いに生かしていきたい。

問 「地球資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」いわゆる六次産業化法が今年施行されている。

本町にも事業として取り入れる要素は十分にあると考えるがどうか。

町長 地産地消や町特産品の利用も促進されることから、地域が活性化する大きな



藤川法男議員

●将来、払い下げできる
戸建て公営住宅の考えは？

●可動堰^{せき}の補助金はあるのか

●田ノ頭「しだれ桜」への支援は！

問 町営住宅の立替費用は、民間の一戸建て住宅と比較した場合、妥当か。

町長 平成23年から鹿山団地の工事に着手した。建設は住宅本体のほかに、造成や道路、公園、駐車

場、集会場などを含む事業費となり、民間の一戸建てとは比較できない。

問 中学校も、30年前から三階建てになっている。なぜ、三階・四階建ての計画はできなかったのか。

建設課長 高層化になれば、エレベーター、非常階段の問題があり、毎月のメンテナンス、電気料など入居者負担が増すことになる。現段階においては、周辺の対応や高齢化などの問題があり、低層住宅の計画になった。

問 将来、払い下げし持ち家とすることができるような戸建て住宅の建設はできないか。

建設課長 住宅地の払い下げは、旧皿山住宅などがあるが、現在進めているのは、住宅の建て替えである。

戸建てとなると、新たな場所や、財政的な問題も解決されれば計画できるのではないかと思う。

問 可動堰^{せき}は、30年以上経過し、故障が相次いでいる。修理に費用がかからない取水施設が容易にできないか。

農林課長 故障中の江良山可動堰を全面回収する場合、現在1億5000万円相当の費用がかかる。

補助事業は、国・県合わせ92%、町が6%、地元負担が2%（300万円程度）の補助率であり、関係

者と慎重に協議を重ねている。

問 4月の中尾山桜陶祭の呼び水となる田ノ頭「しだれ桜」に、何か支援策はないのか。

町長 先に保存会や田ノ頭郷、観光ボランティアなどで対応協議され、その後生じる経費は、入場料、駐車料金などの徴収を考慮し、不足分は支援を検討する。



大人気の「しだれ桜」

な可能性を秘めた方策であると思う。

また、農業の経営安定と高付加価値にもつながるものと確信している。そういう意味で、今こそ地域が一体となって、本町にある豊かな資源を有効活用し、取り組んでいくべきテーマと思う。

町としては、農商工連携事業や六次産業化促進事業などを活用し、新たな取り組みにかかわる農業者や商工業者の人材育成を含め、最大限の支援をおこなう。**農林課長** これから、24年度の予算も含めて、この法律を有効的に活用したい。



波佐見町地域新エネルギービジョン策定事業報告書

- 町営住宅・庁舎の高層化など計画はないか
- 土地区画整理事業の中で商店など同居高層化はできないか
- 野球場建設予定地購入の考えはないか



大久保進議員

問 鹿山住宅の建設が始まった。土地有効活用の観点から高層化の考えは。

町長 隣接地の日照、エレベーターや消防施設、遊具などの設置義務、建築基準法による住宅性能評価など

の制約が多く発生し、建築コストや維持管理コスト増につながる。

問 建坪は約二八〇〇坪ある。高層化にすると三〇〇坪位でできるのではないか。残りの面積の有効活用が図られ、将来的にもメンテナンスや配管、配線、バリアフリーもできる。今後考えるべきではないか。

町長 実現可能な環境の中で、最良の方法を取ってきた。周辺自治体でも高層化の住宅は見たことがない。

問 西ノ原土地区画整理事業は関係者には厳しい制約となったが、危険個所道路の解消と美しい街並み景観を基本に計画された。それには移転が必要不可欠である。高層化を図り商店など同居の集合住宅の考えはないのか。

町長 当面は排水設備、危険な道路の解消工事に何年かはかかる。共同店舗ができる環境になれば十分研

究・検討をしなければならぬ。

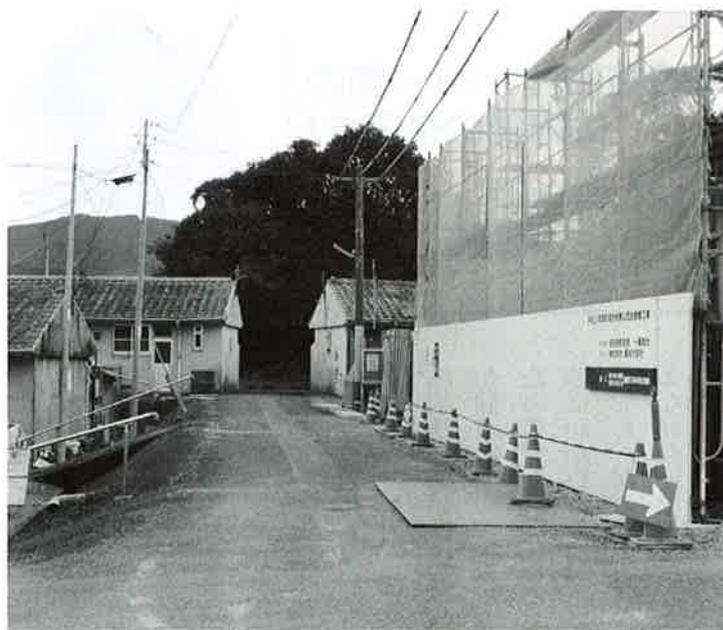
問 野球場建設については、前教育長も前向きな答弁であった。青少年健全育成、野球熱を考えれば球場予定地購入も考えるべきではないか。

教育長 町民はもとより子どもたちの影響を与えることは承知している。将来的

展望に立つて球場建設に対しても検討する時期でもある。町当局とも相談しながら、実現に向けて考える。

問 中央小・文化会館周辺の道路改修はどうなったのか。

町長 町道三本柿二号線はご協力を得て本年度着手する。中央小周辺は昨年説明会はしたが今後協議する。



建設が始まった鹿山住宅



松林一夫議員

●農業振興と鳥獣被害の 対策はどうか ●国際交流をどう考えるか

問 認定農業者や集落営農組合など、経営の充実拡大・所得向上および新規作物への取り組みはどうか。
町長 農地の規模拡大については、農業経営基盤強化促進法に基づき、農地利用

貸借や農地移動適正化あつせん事業などを活用し、22年度認定農業者11人で7・2haの利用集積が図られた。

新規作物の中でもカボチャは、収量と価格の安定性があり、今年度約7haの栽培が行われた。また、ジャガイモは田ノ頭地区を中心に作付されているが、今後有望な作物と思われる。

問 鳥獣被害対策の現状は。
町長 22年度作物被害は、水稲を中心に5・4ha約215万円の被害があつた。駆除の実績はイノシシ965頭、アライグマ55頭、アナグマ44頭となっている。今後も猟友会による駆除を行う一方、防護柵の効果を最大限に発揮させるため、地元農家を中心に定期的な巡回と草刈などを徹底し、イノシシなどが入りにくい環境整備などをすることが一番の対策と考える。

問 森林整備の現状と将来の計画はどうか。

町長 国産木材価格の長期低迷が続く中、山林所有者の林業経営は厳しいものがある。

国の造林補助事業が見直され、24年度から5ha以上の集約化と利用間伐を実施する場合のみ、補助する大きな政策転換がなされた。現在、この実施に向け、森林組合の森林経営計画と

連動しながら進めている。
問 県が進める観光と物産を柱とした国際交流をどう考えるか。

町長 中国上海市でのオールジャパンショーにも県を通じた紹介や支援がなされ、本町商社の新たな出展もあり、今後、波佐見焼きの海外需要の高まりを期待する。



農業の発展を目指して頑張っています

問 フットサル競技は、利用者の強い要望から、町内では中学校体育館のみが使用を許可されている。激しいスポーツであるため、壁の強度が心配される。今後、壁側にネットを張

●フットサル競技(屋内サッカー)用の 体育館の充実を! ●自治会未加入者への 情報伝達は!



尾上和孝議員

るなど、体育館の充実を図る考えはないか。

教育長 下側の窓ガラスを強化ガラスに取替え、また、窓の防柵の補強も行い改善を図った。利用状況などを見ながら、破損事故などないよう対応していく。

問 自治会未加入者など町内放送が無い世帯は、情報が届きにくい。小さい子供たちのワクチン接種などと、命にかかわる大切な告知だけでも、何らかの方法で伝えなければならぬと思うが、対策はあるのか。

町長 引き続き、広報誌やホームページ、各種検診時の周知を行っていく。今後は、出生届、転入届の時点での周知も検討していく。

問 配布物をアパートの大家さんに配ってもらうなど考えられないか。

総務課長 昨年9月にアパートのオーナー会議を実施した。広報誌や町作成のち

どう考える！

●防災行政無線 ●自然エネルギー



松尾道代議員

問 災害対策の要となる防災行政無線は、デジタル化へ向けた整備計画がされている。全世帯100%の整備が基本と考えるが、自治会未加入問題と併せ、どう考えるか。

総務課長

自治会未加入と想定される約500世帯には、パソコンや携帯電話にメールでの周知を検討している。

問 福島原発事故を教訓にし、エネルギー対策をどう考えるか。

町長 本町から一番近い原子力発電所は佐賀県玄海町にある。今回の事故を教訓に、県では避難計画を見直すよう、検討委員会が立ち上げられたと聞いている。

原発を直ちになくすことは、産業の空洞化につながり、経済の大混乱を招く。

他のシステムでの発電コスト・能力がクリアできれば、原発がないに超したことはないが当分の間は必要と考えている。

問 再生可能エネルギーへの転換を多くの国民が望み、特別措置法が成立した。

太陽光・風力・水力・地熱など、自然エネルギーを普及させる力ギになる。

現在、太陽光発電は町内237戸に設置されている。

国や県の補助金に併せ、町も補助することで定住支援の追い風にならないか。

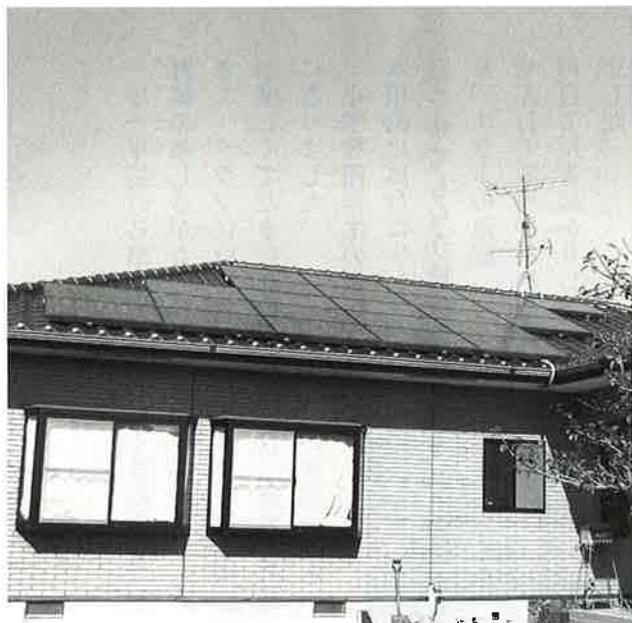
副町長 国は新エネルギーに対する方針を来年の夏までに示すようだ。それを受けて検討したい。

問 地域新エネルギービジョンに「陶磁器焼成の廃熱エネルギーの利用」とある。県の機関である窯業技術センターなどに依頼され本気で検討すべきではないか。

町長 以前から窯の廃熱利用を考えていた。

しかし、相当の投資が必要となると思う。また費用対効果はどうかと思う。窯業技術センターでの研究は、出来るか出来ないか解らないことは厳しい。

〔その他の質問〕
新学習指導要領への対策は。



設置された太陽光パネル

ラシ、パンフレットなど、配布に協力的な方もいた。

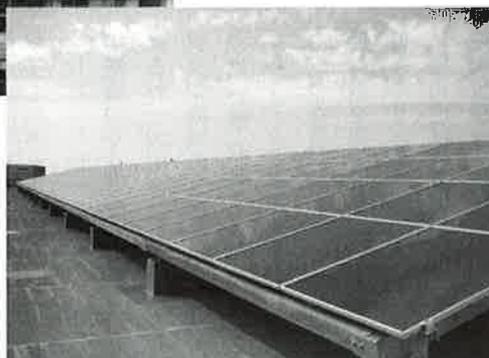
今後、自治会未加入者への周知について努めていく。

問 波佐見テクノパークの斜面に太陽光パネルの設置を提案したが、今後の町の取り組みはどうか。

町長 設置するには、長崎

キヤノンの意向も考慮しなければならぬし、多額の財源も必要となる。今のところは考えていない。

問 太陽光発電を役場庁舎に設置されるが、いつ頃か。
住民福祉課長 今年度、なるべく早い時期を考えている。



公共施設に設置された太陽光パネル（大村市）

私もひとこと



僕が野球を始めて

南小学校6年 朝田 裕己

僕が野球を始めたのは小学校一年生になって間もない頃でした。保育園、幼稚園の時から仲の良い友達といつも遊んでいる時、いつのまにか野球のように打つては、走り投げてはとったりしているうちに楽しい気持ちが強くなり、お父さんやお母さんに「僕野球をしたい！」とお願いしました。すると何のためらいもなく「やってみろ！」と言ってくれました。

しかし、条件を付けておくといわれ、どきどきして聞いてみると、学校にちゃんと休まず行くという事、宿題をちゃんとする事でした。それと途中でぜったいやめないといい事でした。まだ小学校一年生だった僕はよく意味がわかりません。「わかりました！」と答え、今入っている鴻ノ巣少年野球クラブに入部させてもらいました。

最初の頃はほとんど玉ひろいや道具の準備、グラウンドの整備とかでぜんぜん楽しく思えませんでした。それでも一緒にいる友達がいたおかげで楽しいこともあり、小学校四年生の頃から本格的に試合に少しずつ出させてもらう様になり、エラーの連続、ぜんぜん打てる事が出来ない毎日反省ばかりしていました。

ある時にコーチや監督さんに指導され、くり返しくり返し指導された事をやってみました。するとだんだんよくなり、エラーするのが減っていきバットにも当たる様になっていきました。今ではあの時に指導してもらったおかげと思っています。

高学年になりレギュラー、キャプテンをさせてもらってたいへんな時も

たくさんあるけど、一日一日、一生けんめい練習や試合に取り組んで、中学校、高校と野球を続けていきたいと思います。



鴻ノ巣少年野球クラブのメンバー



采配を振るう監督とコーチ

次回の定例会は 12月中旬 からの予定です 傍聴をおまちしています

編集後記

9月の定例会では7名が町政に対する一般質問を致しました。3月の大震災・原発事故、9月の台風被害などでエネルギー問題、防災対策についての質問が多く出されました。

10月9日は秋空の下、平成23年健康づくり町民大運動会が開催され、22色のはちまきに若男女が地域の名誉をかけて力いっぱい競われました。中でも「ラグビーボールけりりレー」・「ボール運びりレー」は参加者皆が腹を抱えて笑いこける一幕もあり大変盛会でありました。協和地区は優勝5回、うち、連続優勝を2回され、参加されただれもが結束力がある地域と感じたこと

でしよう。 議長 松添 一道
御苦勞様 特別委員会



- 議長 松添 一道
委員 松田 宇子
副委員長 川田 保則
委員 藤川 法男
委員 古尾 千秋